

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県公立八鹿病院組合 公立八鹿病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	ド透未訓方	救 救 感 へ 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	35,498	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

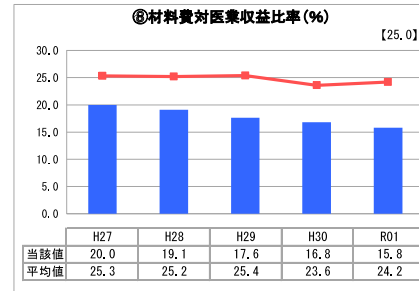
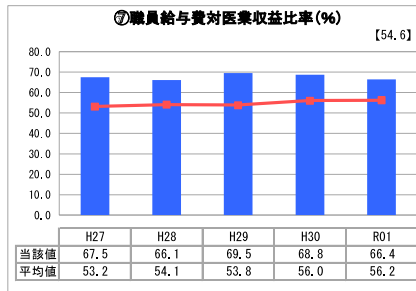
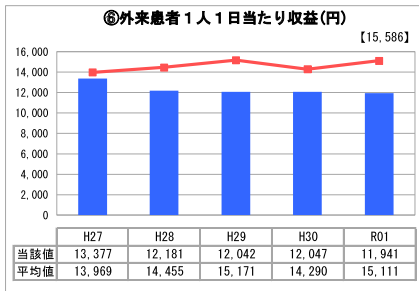
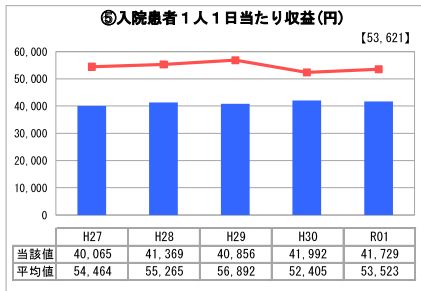
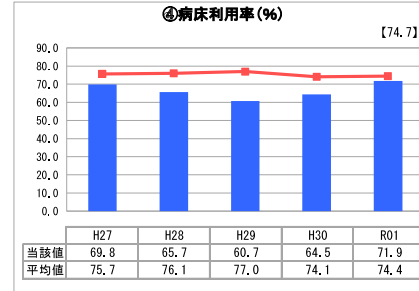
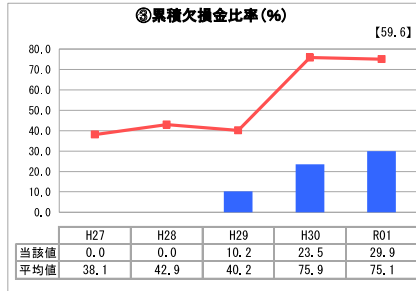
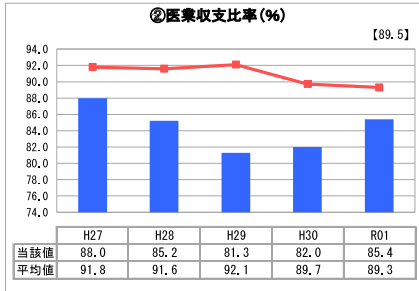
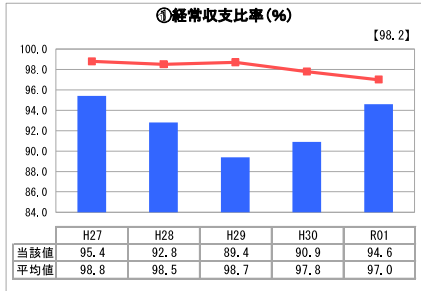
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
338	35	7
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	380
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
293	34	327

グラフ凡例

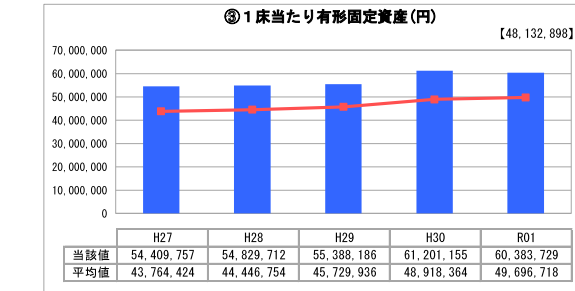
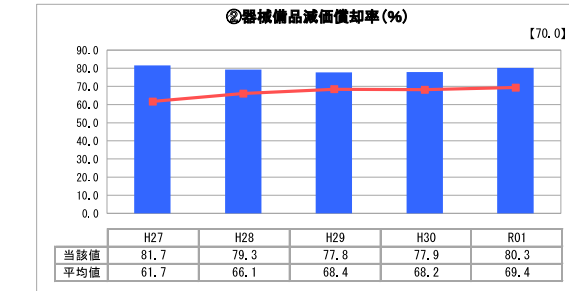
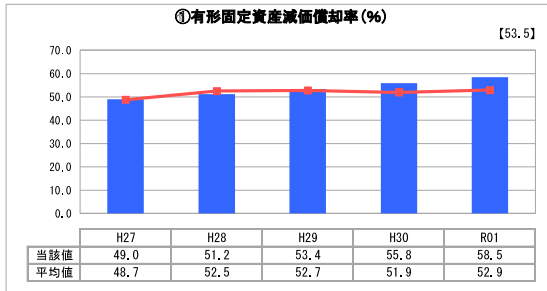
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

西南但馬地域の中核病院として、また養父市で唯一の一般病院として、急性期から慢性期、在宅医療までシームレスな医療を提供している。

また、公立病院として、高度医療・特殊医療・不採算医療を担い、一般病床の他に、回復期リハビリテーション・地域包括ケア・療養・緩和ケアの病床を有する、ケアミックス型の病院である。

地域に欠かせない救急医療については、近隣の医療機関との連携を図り、二次救急までを24時間365日体制で担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

ケアミックス型病院である当院は、同規模病院と比較し入院単価が低いため、高い病床利用率を維持することで収益を確保する必要があるが、医師不足によって病床利用率も低い状態となっている。近年は医師数が増加したこと収支改善傾向にあるものの、収支を示す指標は依然として全国平均値を下回る状況である。

費用の面では、給与対比率が高く、材料費対比率が低いというケアミックス型病院の特徴を示している。材料費の抑制による費用削減効果は限定的であるため、経営の健全化を図るには、給与費と委託費等の抑制対策が不可欠である。

2. 老朽化の状況について

病院の建替えはH19年度に完了しているが、付帯施設である老人保健施設、看護学校はいずれも建築後30年が近づき、建替え・大規模改修等の要否を判断しなければならぬ時期となっている。

病院建替に合わせて導入した多くの医療機器も更新が進み、特に近年はCTやMRI、リニアックといった高額機器の更新が相次いだことで減価償却費が増加している。また、R2年度には電子カルテの更新を行うことで更に収支を圧迫することが見込まれる。

なお、当院の固定資産には、付帯施設である看護学校や老人保健施設も含まれているため、1床あたりの有形固定資産額が全国平均と比較し高値となっている。

全体総括

収支悪化の最大の要因は、患者数が減少した一方で、職員数には大きな変化がないため、給与費が収益を圧迫している点にある。しかし、患者数の減少は医療需要の減少によるものではなく、医師数による影響が大きいと考えており、医師確保による医療提供体制の充実を現在の方針としている。実際、医師数が増加したH30年以降は収支改善傾向にあり、職員数を直ちに削減することは難しい。

ただし、当院は高齢化の先進地域にあり、高齢者人口も減少局面に入りつつあることから、今後は医療需要の減少を見込んだ職員配置を段階的に実施して行く必要がある。

なお、H30年10月に未稼働病床を40床削減し、コストの削減と業務の効率化に取り組んでいる。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県公立八幡病院組合 公立村岡病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	2,995	第1種該当	10:1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

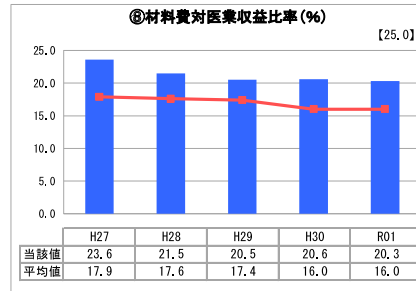
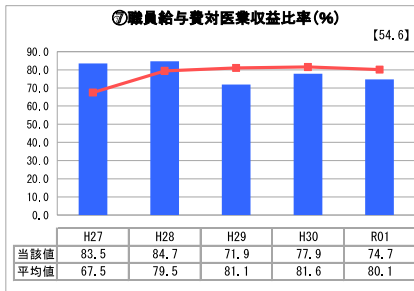
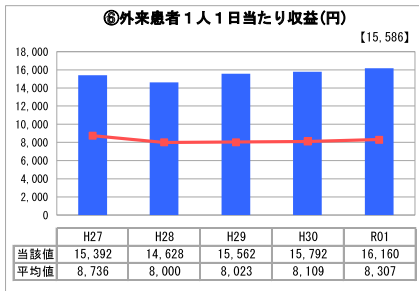
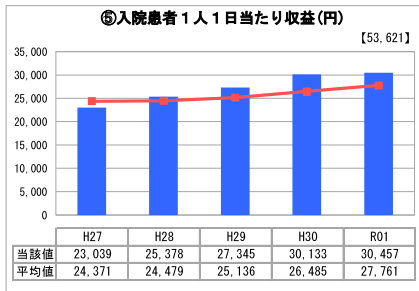
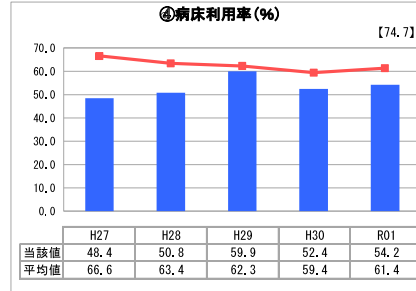
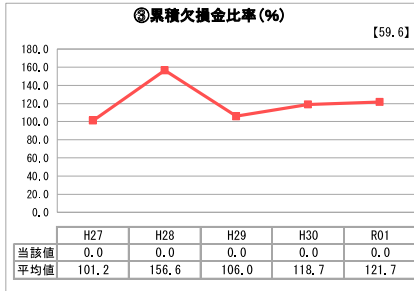
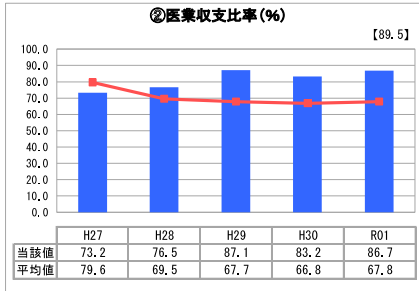
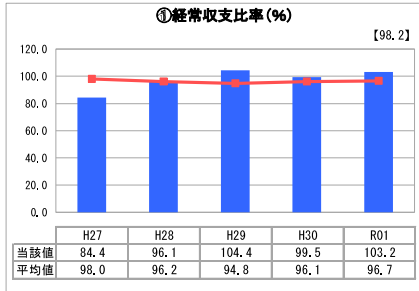
※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
42	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	42
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
38	-	38

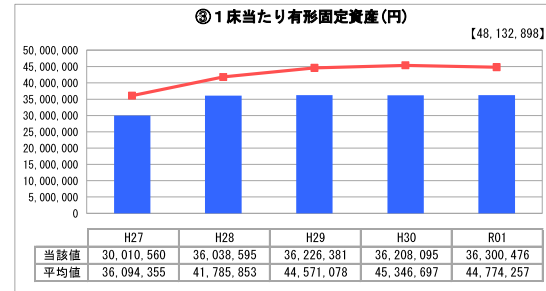
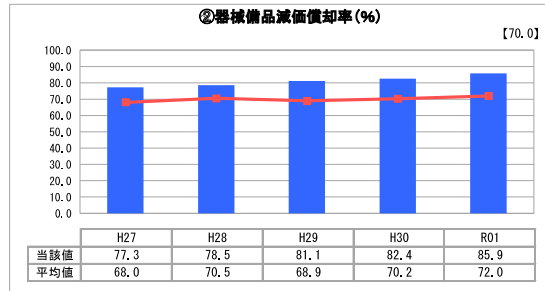
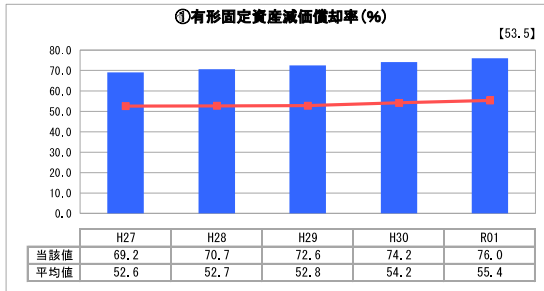
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-

I 地域において担っている役割

急性期を過ぎた回復期患者の受入病院としての役割を担っている。また、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ等の在宅医療を中心とした慢性期医療にも積極的に取り組んでおり、地域における他の医療機関・介護施設等との協力・連携を行いながら、高齢者が安心して生活できる医療を提供している。

外来診療は各々の医師が専門性を活かしつつ、総合診療科制を実施している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地域包括ケア病床をH27年10月に6床設置し、H28年11月に18床へ増床、H30年10月には21床に増床したことで、入院診療単価が増加し、収支改善につながった。また、同時に未稼働病床を8床削減し業務の効率化も進んでおり、H29年度・R1年度には経常黒字となっている。

なお、当院は不採算地区病院であり、病床利用率は平均値より低い状況が続いているが、地域包括ケア病床の活用が患者確保にも繋がっている。院内処方を行っているため、外来診療単価および材料費の比率が平均値と比べ高くなっている。

2. 老朽化の状況について

当院の医療圏（香美町村岡区、小代区）は高齢化の先進地域であり、高齢者人口も既に減少に転じているため、今後、医療需要が増加する見込みは薄く、施設設備に積極的な投資は行わない方針としている。ただし、建物は築30年となり、外観・内装ともに老朽化が激しいため、最低限の改修を行いながら、医療の提供を続けて行く。

なお、1床あたりの有形固定資産額は同規模平均よりも低いが、これは当院が回復期・慢性期医療の提供を中心としているため、医療機器等に対する投資額が少ないことに起因している。

全体総括

当院の医療圏は、総人口だけでなく高齢者人口も減少している地域であり、医療需要も減少傾向にあると考えられる。今後も地域の需要に応じた規模で、回復期・慢性期を中心とした医療を提供して行く。

なお、地域包括ケア病床の導入・増床によりH29年度には患者数増加したが、近年は近隣病院にも地域包括ケア病床の導入が進んでおり、今後大幅に患者数が増加することは考えにくい。不採算地区病院に該当しており、医療収支での黒字化は困難な状況にあるが、一般会計からの適切な繰入れによって経営健全化を図り、経常収支での黒字を目標としている。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県北播磨総合医療センター企業団 北播磨総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I訓ガ	救臨地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	38,109	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

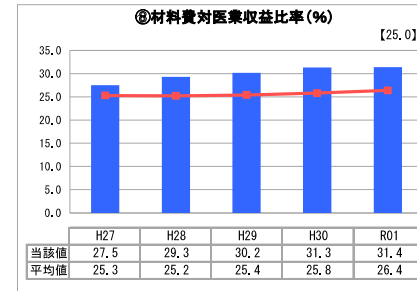
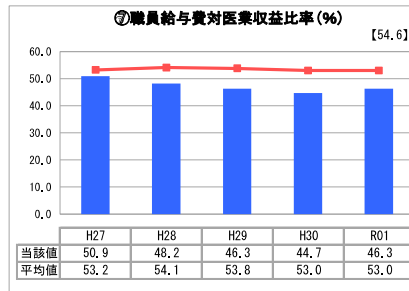
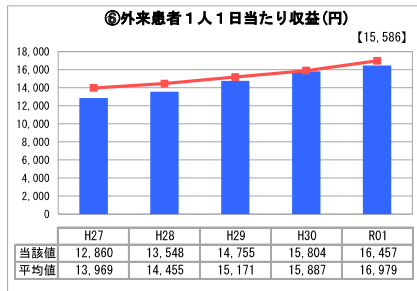
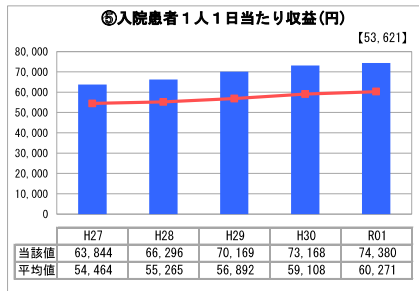
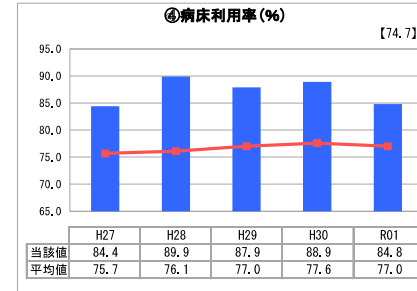
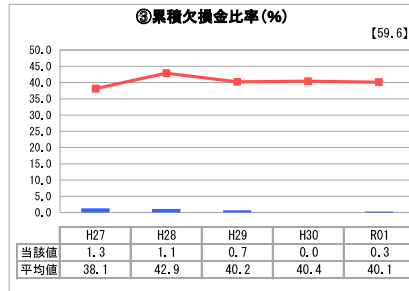
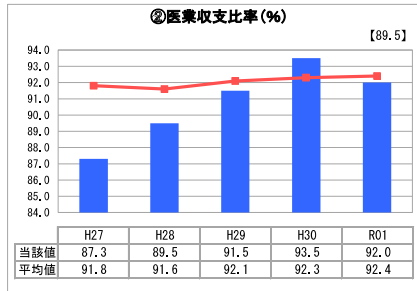
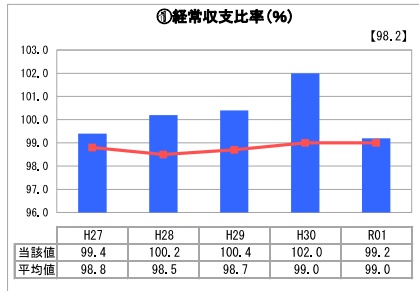
※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
450	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	450
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
440	-	440

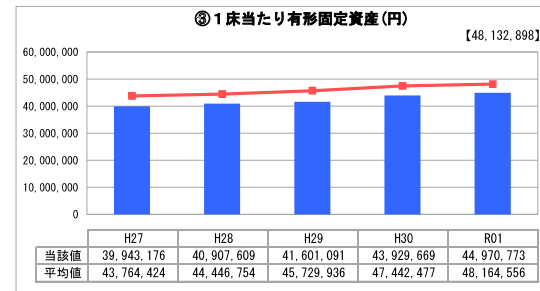
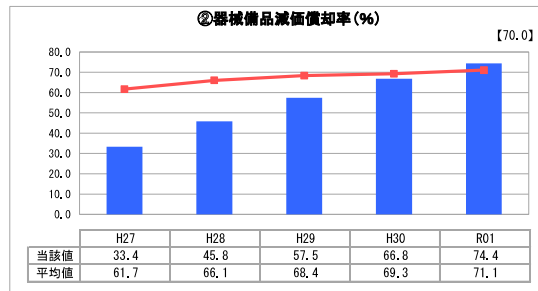
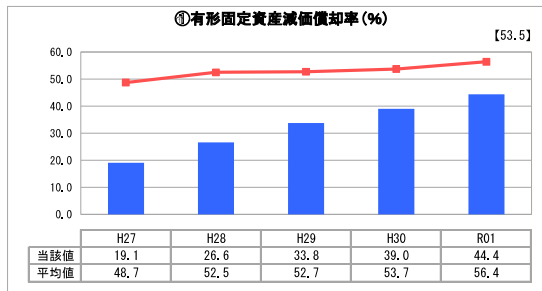
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	-	-

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療（ER救急、小児救急、急性心疾患、周産期）を担うとともに、専門的で高度な医療の提供を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染者の発生による2週間の診療等の休止や、患者の受診控え等の影響により、医療収益が減少し、これまで順調に上昇してきた経常収支比率、医療収支比率が低下した。入院・外来単価は年々向上しているものの、費用面では、医療収益に対する材料費の割合が類似病院の平均値よりも高くなっており、単価引き下げに努めている。

2. 老朽化の状況について

開院から5年半が経過し、有形固定資産減価償却率は年々増加している。開院時に取得した器械備品は、償却期間が順次満了しており、器械備品減価償却率は類似病院平均値とほぼ同様の数値となってきた。また、1床当たりの有形固定資産額は年々増加しているが、類似病院の平均値よりも低い状況にある。

全体総括

令和元年度は、医療サービスの質的向上を図り、安全安心な医療の提供と患者満足度を高めるとともに、収益確保や経費節減に努めた。患者数の増への対応及び病院機能の強化に取り組んでいたが、新型コロナウイルス感染者の発生による診療休止等の影響により年間赤字となるなど、病院経営に大きな影響を受けた。今後も、看護師をはじめとした医療スタッフの確保を引き続き進め、病院改革プラン数値目標をもとに一層の収支改善、経営安定に取り組んでいく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 中央市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	透I未訓方	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	101,981	非該当	7：1	

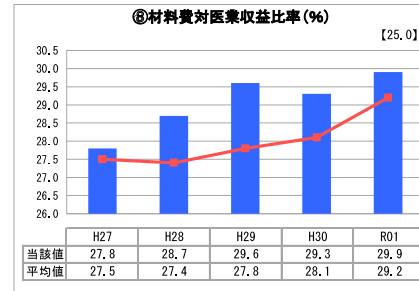
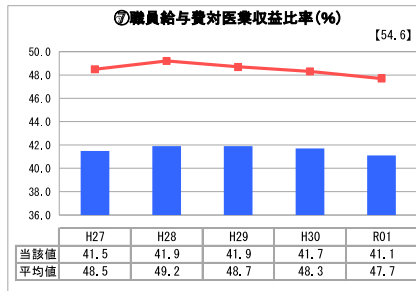
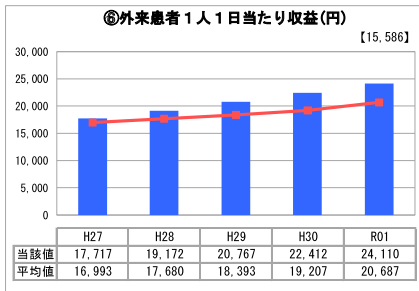
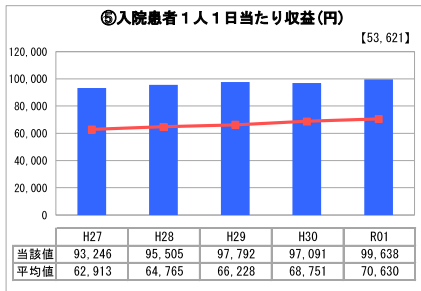
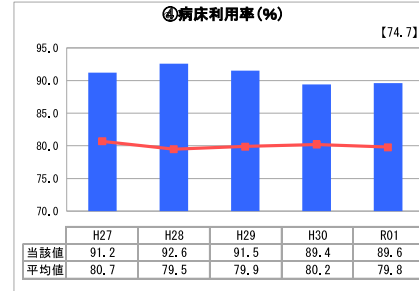
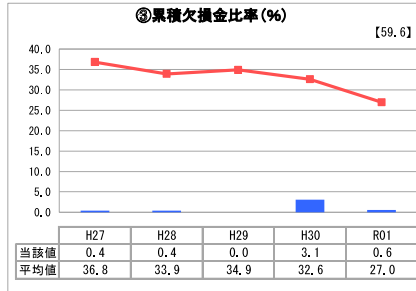
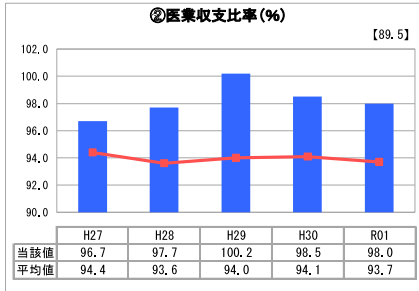
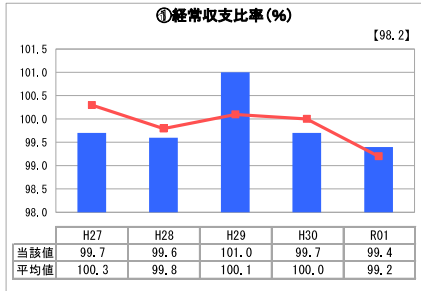
※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

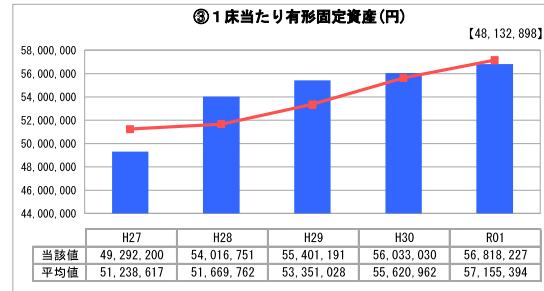
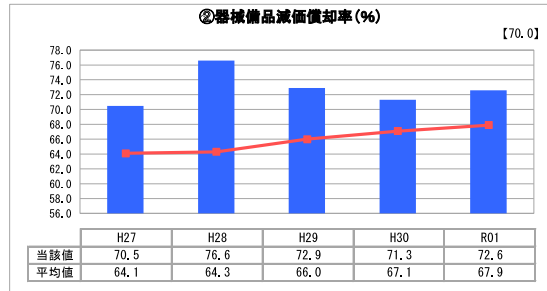
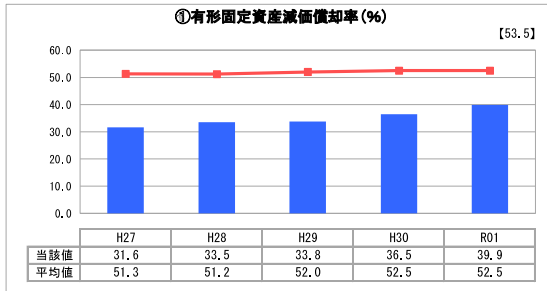
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
750	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
8	10	768
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
750	-	750

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【】 令和元年度全国平均		

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	平成21年度	-年度

I 地域において担っている役割

神戸市全域の基幹病院・救命救急センターとして、24時間365日の救急医療を提供するとともに、高度医療・急性期医療を重点的に担い、最後の砦として市民の生命と健康を守る役割を担っている。
*平成29年11月に先端医療センターを統合し、60床増床している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度決算においては、平成30年度に更新した医療情報システムに係る減価償却費の通年化等により損益が悪化したことから、経常収支比率及び医業収支比率は100%を下回った。神戸市全域の基幹病院として高度医療・先進医療を提供していることから、患者1人1日当たり収益は入院・外来ともに平均値を大きく上回っている一方、これに伴い材料費対医業収益比率が平均値を上回っており、上昇傾向にある。
経常収支比率を100%にするために、引き続き高度医療・先進医療の提供による収益確保に努めるとともに、材料費対医業収益比率の改善を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、平成23年度に病院建物を新築・移転し、平成28年度に北館・研修棟を増築、平成29年度には先端医療センター・病棟の統合により、建物を取得したところであり、平均値を下回っている。
器械備品減価償却率については、平成30年度に更新した医療情報システムの減価償却が進んだこと等から前年度に比べ上昇した。

全体総括

1. に記載の通り、経常収支比率を100%にするために、病床利用率の改善等による医業収益の増加に取り組むとともに、共同購入や価格交渉による材料費の削減等に取り組んでいるところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

* 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	透I訓	救臨地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	28,813	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
358	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	358
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
358	-	358

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
[]	令和元年度全国平均	

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	平成21年度	-年度

I 地域において担っている役割

市街地西部の中核病院として、救急医療・急性期医療を担い、24時間365日市民の生命と健康を守る役割を担っている。また、在宅医療支援を含めた地域社会との連携を図り、地域医療支援病院としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度決算においては、救急受入体制の強化や地域医療機関との更なる連携による新規患者の確保等により医療収益が大幅に増加したことから、経常収支比率及び医療収支比率が前年度に比べ大幅に改善し、平均値を上回った。

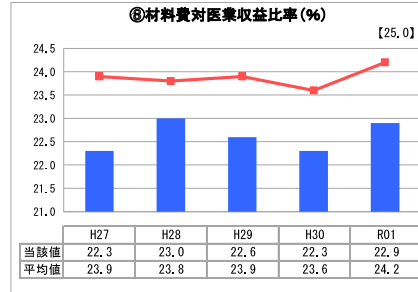
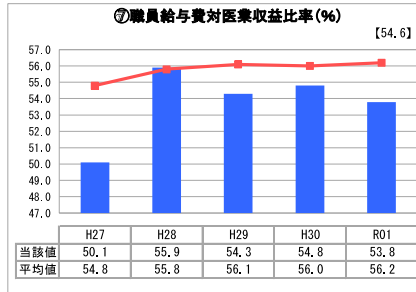
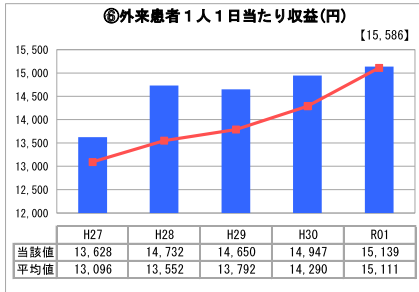
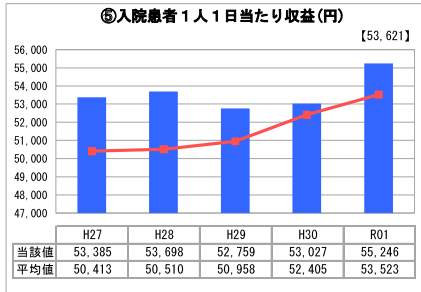
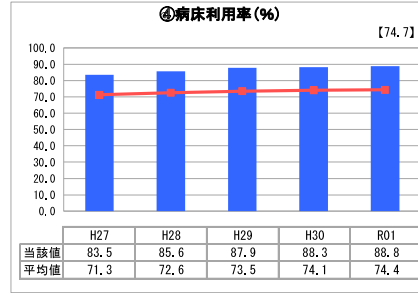
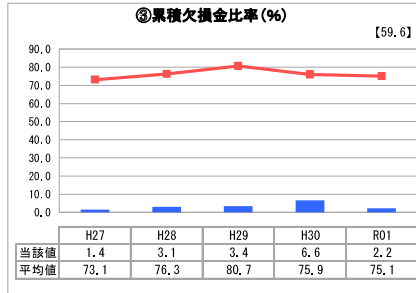
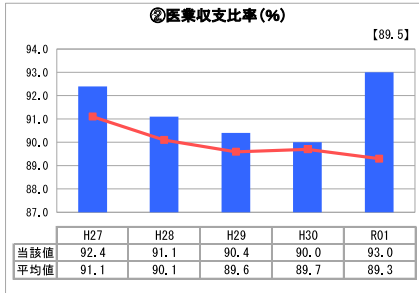
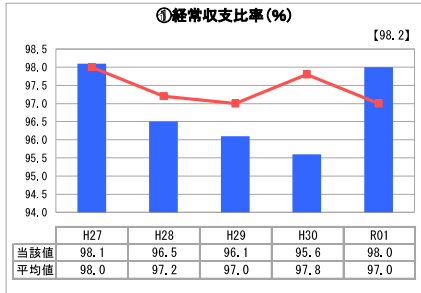
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、平均値を上回っている。病院建物は本館は築後22年、北館は築後30年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。
器械備品減価償却率は、平成25年、平成26年に導入した医療情報システム等の減価償却が進んだこと等により平均値を上回って推移している。

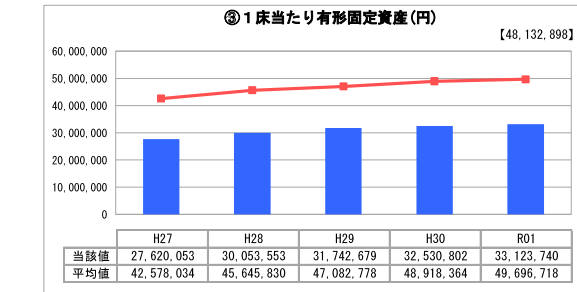
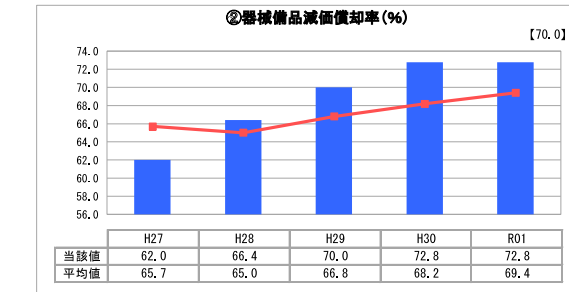
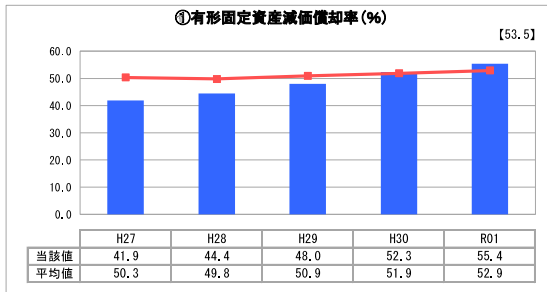
全体総括

経常収支比率100%に向けて、引き続き新規患者の確保等による医療収益の確保に取り組むとともに、働き方改革の推進による超過勤務手当の削減等費用の削減に取り組んでいるところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西神戸医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	透I訓力	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	41,848	非該当	7：1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
425	-	50
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	475
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
425	-	425

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

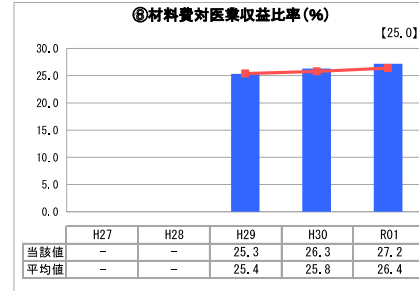
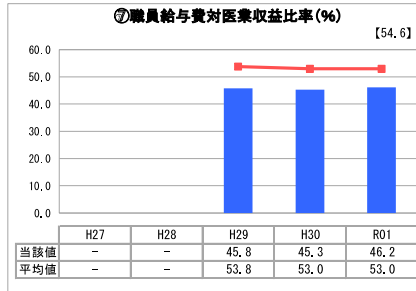
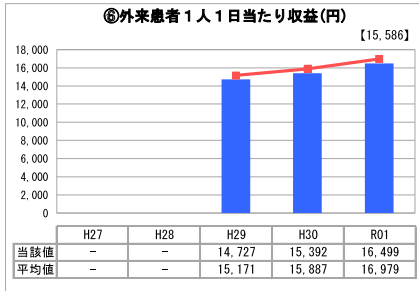
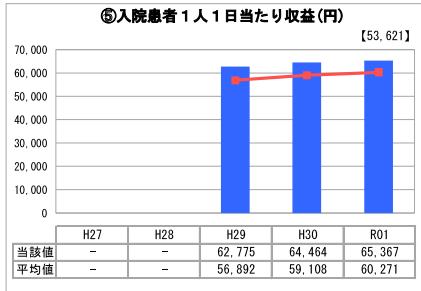
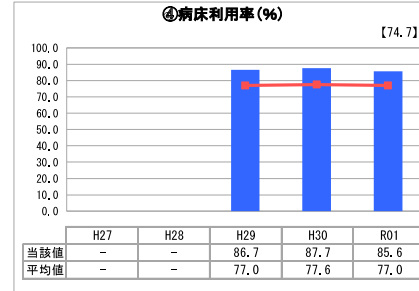
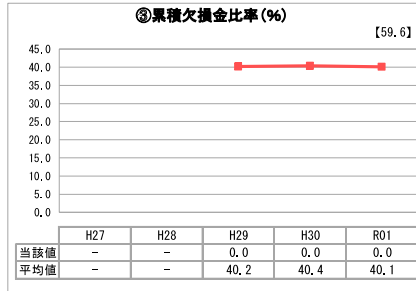
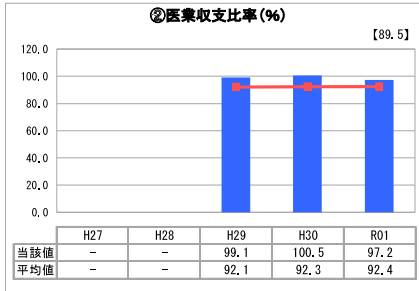
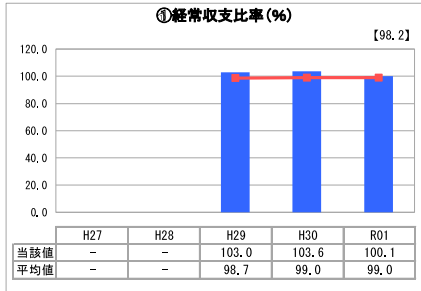
※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	平成29年度
-	年度	-

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

神戸西地域における中核病院として、高度医療・急性期医療・結核医療等を安定的に提供するとともに、地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携及び支援に取り組んでいる。また、地域がん連携拠点病院としての役割を担っている。
*平成29年4月に旧神戸市地域医療振興財団から移管。

II 分析欄

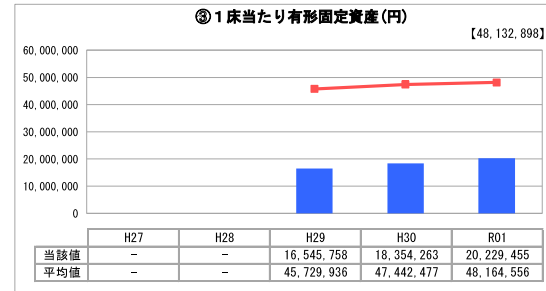
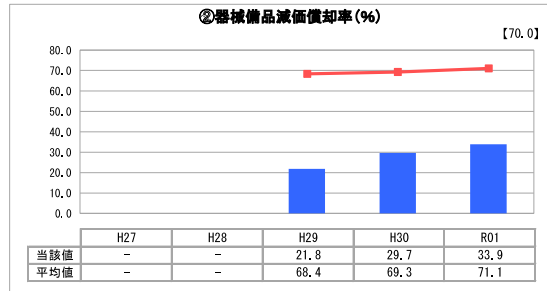
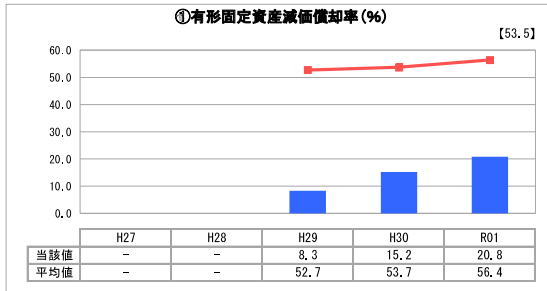
1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度決算においては、入院患者1人1日当たり収益が前年度を上回ったこと等により、経常収支比率は100%を上回った。
外来患者1人1日当たり収益は、外来化学療法件数の増等により前年度を上回ったものの、平均値を下回っており、安定的に経常黒字を確保していくためには、さらなる向上が必要である。
また、外来化学療法件数の増等に伴う腫瘍薬の使用増等により、材料費対医業収益比率は平均値を上回って推移しており、改善が必要である。

2. 老朽化の状況について

平成29年4月の移管に伴い、土地・建物、医療機器等を譲り受けたところであり、有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに平均値を大きく下回っている。一方で病院建物は築後25年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和元年度決算においては、経常黒字を確保したものの、1.に記載の通り、今後も安定的に経常黒字を確保していくためには、患者1人1日当たり収益のさらなる向上、材料費対医業収益比率の改善が必要である。そのため、診療機能の強化による医業収益の確保に取り組むとともに、価格交渉による材料費の削減等費用の削減に取り組んでいるところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

*「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 アイセンター病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	対象	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	4,563	非該当	10:1	

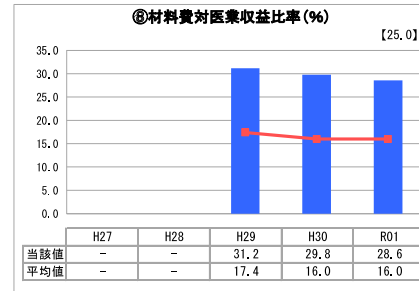
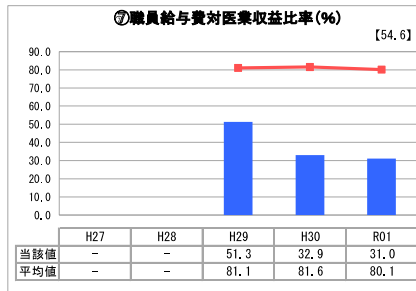
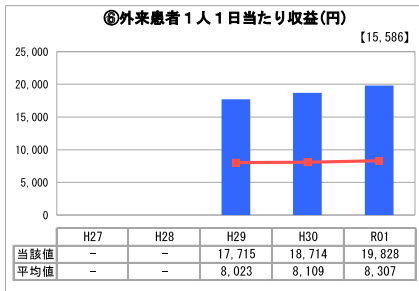
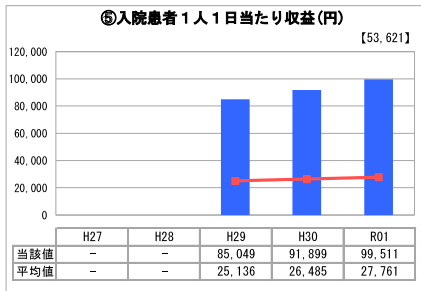
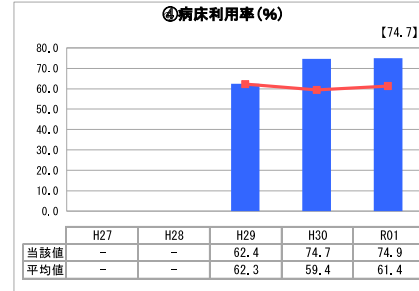
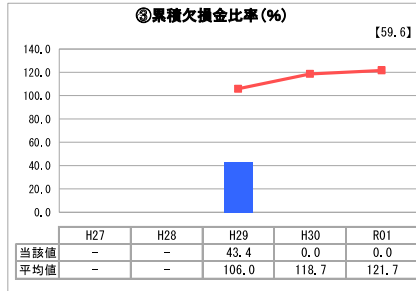
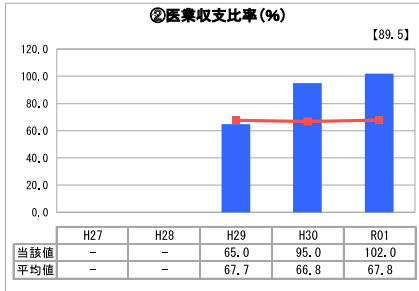
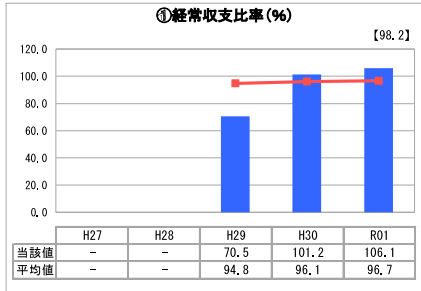
※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

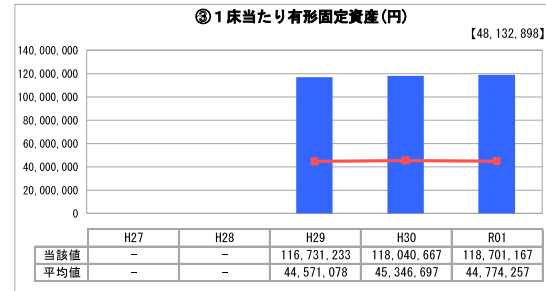
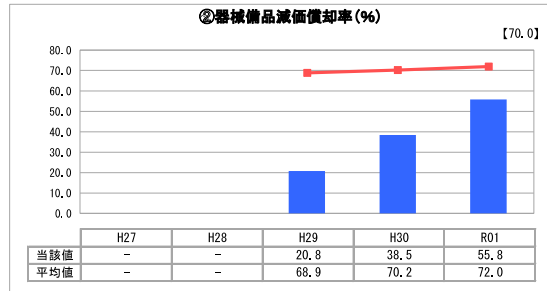
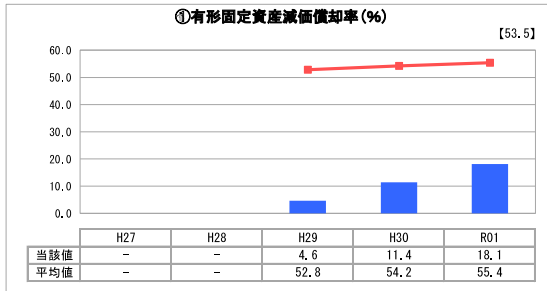
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
30	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	30
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
30	-	30

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
[]	令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	平成29年度
-	年度	-

I 地域において担っている役割

眼科専門病院として、標準医療から最先端の高度医療まで地域医療を高い水準で担うとともに、眼疾患に係る治験・臨床研究を推進する。また、重篤な眼疾患から社会生活への復帰を支援するワンプラスセンターとしての役割を担っている。
*平成29年12月開院

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度決算においては、病床利用率、患者1人1日当たり収益が前年度を上回ったことから、経常収支比率及び医業収支比率ともに100%を上回った。

眼科単科であることから平均値との比較は困難であるが、病床利用率、患者1人1日当たり収益ともに良好に推移しており、職員給与費対医業収益比率及び材料費対医業収益比率も前年度を下回って推移している。

2. 老朽化の状況について

平成29年12月の開院時に新たに建物、医療機器等を整備したことから、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率ともに平均値を大きく下回っている。

全体総括

平成30年度決算及び令和元年度決算において経常黒字を確保しており、各種指標も良好に推移している。

引き続き安定的に経常黒字を確保できるよう、地域医療機関との連携による新規患者の確保や手術件数の増に取り組むとともに、使用材料の見直しや価格交渉による材料費の削減に取り組んでいるところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

* 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県地方独立行政法人明石市立市民病院 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	透I 訓	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	23,520	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

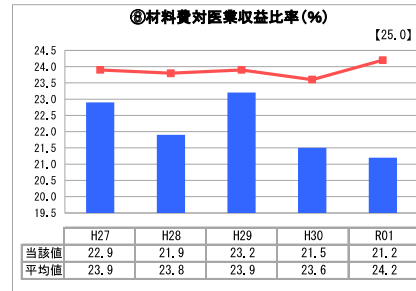
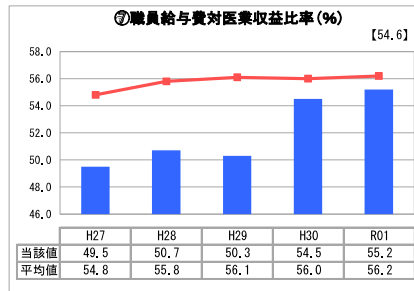
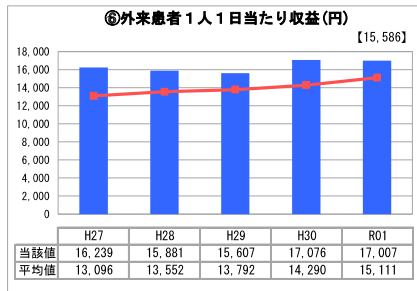
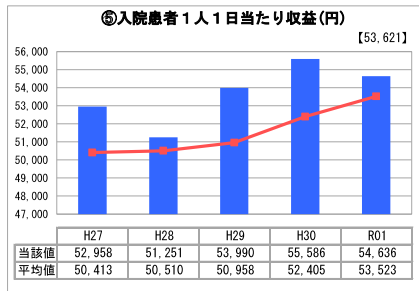
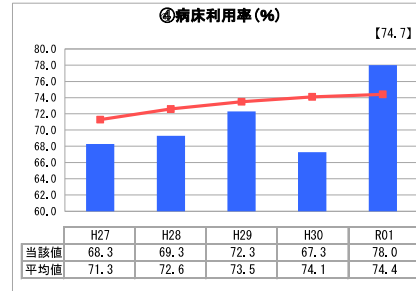
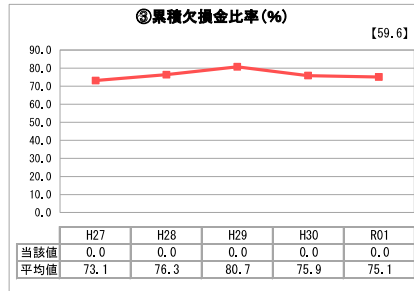
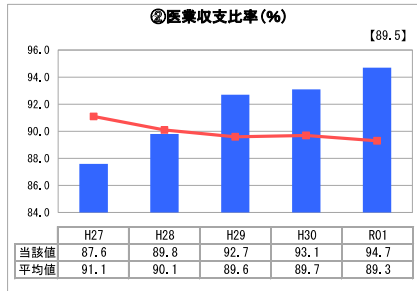
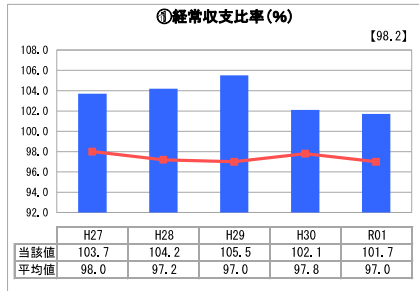
※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪審制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
329	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	329
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
327	-	327

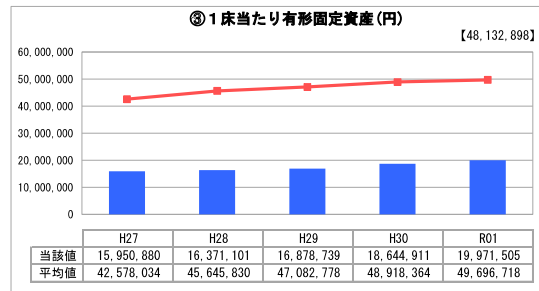
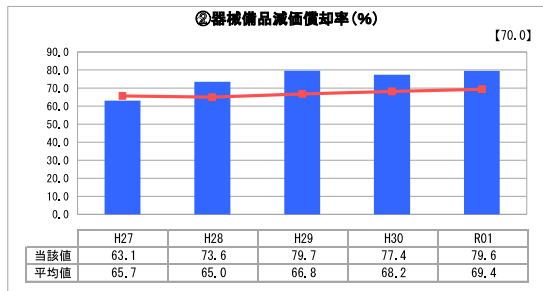
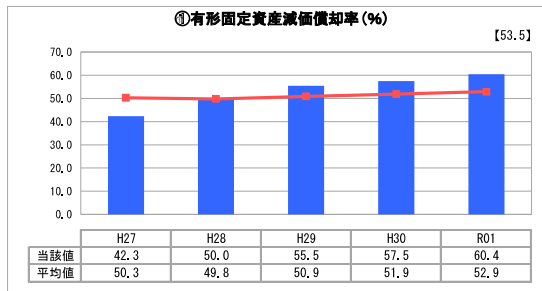
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	平成23 年度
-	年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、地域の医療機関及び市と連携のもと、高度な総合的医療を推進するとともに、救急医療や小児医療、リハビリテーション医療などの政策医療を安定的かつ継続的に提供し、医療の質の向上に努めている。

特に、将来人口推計に基づく地域医療構想を踏まえ、急性期医療を中心として、今後地域で病床の不足が予想される回復期機能にも一定の軸足を置き、地域包括ケア病床並びに回復期リハビリテーション病床を稼働させている。さらに病院併設の訪問看護ステーションの運営も含め、「在宅から入院そして在宅まで」をキーワードに、地域密着型の医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医師の増加により診療体制の充実が図られ全身麻酔の手術件数も増加したほか、地域包括ケア病床と回復期リハビリテーション病床の活用が、急性期病床の稼働率と診療単価の向上につながり、医療収益は増加した。

一方で、休止していた病床の再開等に要した人件費の増加や消費税増税等の影響により純利益が減少し、最終的な経常収支は5年連続で黒字を確保したものの、経常収支比率は前年度を下回った。

2. 老朽化の状況について

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、設備投資を抑制していた時期もあり、医療機器などの更新がやや遅れている側面がある。建物も最も古い部分では平成元年の使用開始から約30年が経過するなど、法定耐用年数に近づいており、資産の老朽化が進んでいる状況である。近年、財務体質が改善されつつあるので、必要性や採算性を検討のもと、計画的な設備投資計画を策定する必要がある。

全体総括

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、診療体制の強化および事務部門の構造改革に取り組み、医療の質の更なる向上と安定した経営基盤の確立へと経営努力を続けている。こうしたなか、令和元年度は第3期中期目標・中期計画計画期間の初年度であったが、黒字決算を維持し、現金・預金残高も前年度を上回るなど、評価委員会から「計画通りに進んでいる」との評価を受けた。

しかしながら、令和元年度からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染症病床の開設など自治体病院としての使命を果たしつつも、厳しい経営状況に直面している。一般病床の稼働率の回復など難しい取組が求められるなか、市としても連携を密にし、必要な支援を行っていくものである。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	ド透I未訓方	救臨地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	61,794	非該当	7：1	

※1 ド... 人間ドック 透... 人工透析 I... ICU・CCU 未... NICU・未熟児室 訓... 運動機能訓練室 ガ... ガン（放射線）診療

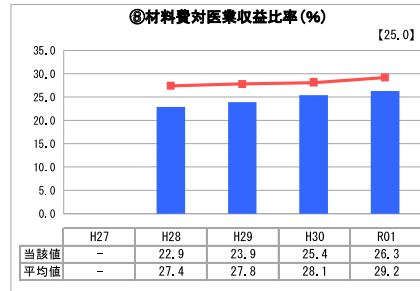
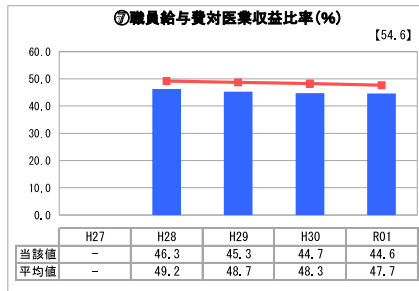
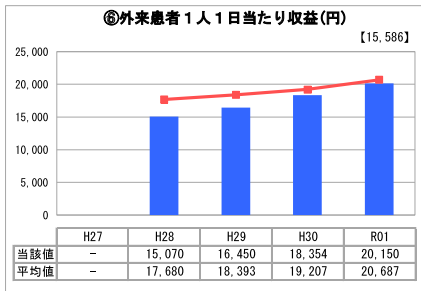
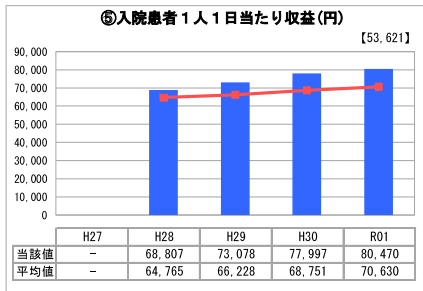
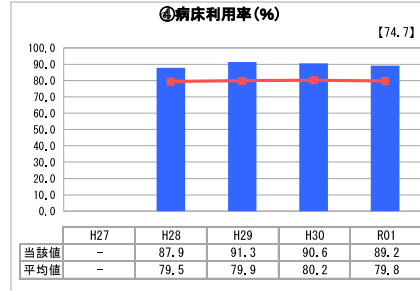
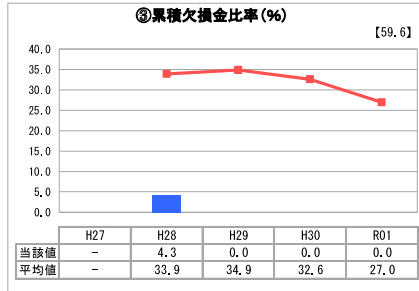
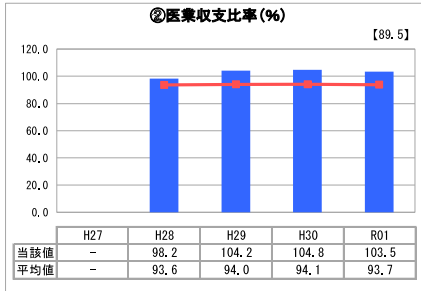
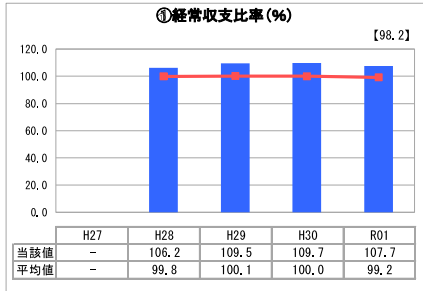
※2 救... 救急告示病院 臨... 臨床研修病院 が... がん診療連携拠点病院 感... 感染症指定医療機関 へ... へき地医療拠点病院 災... 災害拠点病院 地... 地域医療支援病院 特... 特定機能病院 輪... 病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
600	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	600
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
600	-	600

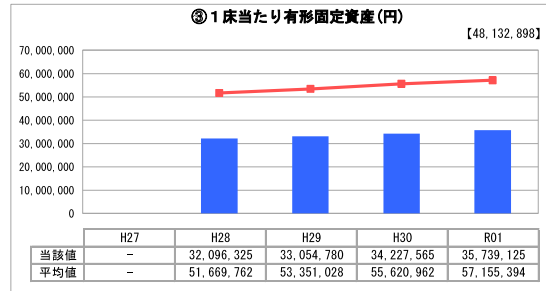
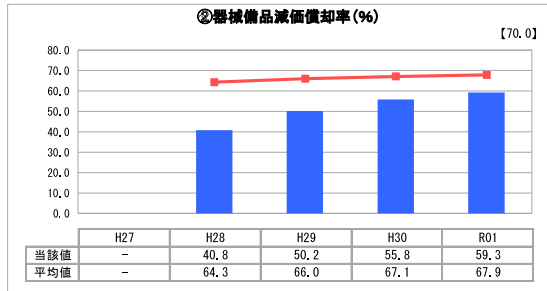
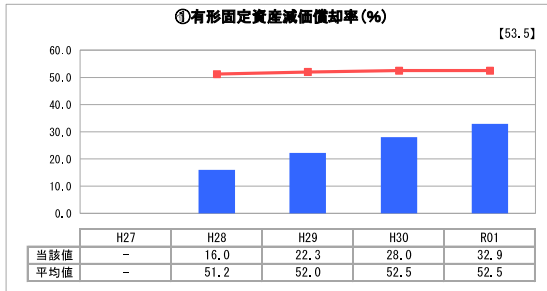
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

詳細・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成28年度	平成28年度	-年度

I 地域において担っている役割

東播磨医療圏において、高度急性期から急性期の機能を担っている。
また、救急医療においては、2次救急医療機関として機能しており、特に循環器領域、小児・周産期領域においては、当該圏域を超え広く受け入れを行っている。
さらに、地域の基幹病院として、消化器センター、心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センター、がん集学的治療センターを設置し、高度専門医療の提供を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率・医業収支比率はともに100%を超えており、新病院の開院後は健全な経営ができています。
また、病床利用率は90%に近いことから、他団体に比べ、多くの患者を効率よく受け入れることができています。さらに、患者1人当たりの収益が入院・外来ともに向上しており、収益も効率的に確保できています。
費用に関しては、患者数の増加に対応するため、職員を採用しているが、人件費の増加以上に収益が増加しており、職員給与費対医業収益比率は前年度から0.1ポイント改善している。
また、高度医療の提供により、材料費対医業収益比率が前年度から0.9ポイント悪化しているが、費用の増加に連動して収益単価も増加していることから、大きな問題とは考えていない。

2. 老朽化の状況について

平成28年7月に新病院への移転に伴い、建物を新築していること、一定数の器械備品を更新していることから、減価償却率は他団体よりも低い。
また、1床当たり有形固定資産も他団体より大幅に低くなっているが、これは過剰な設備投資になっていないことを示しており、少ない資産で高い収益を得ていることから、効率的な病院経営ができています。

全体総括

東播磨医療圏における急性期・高度急性期医療を担う病院として、乳児から高齢者まで市民が安心して医療を受けることができるよう、地域の医療機関と役割分担や連携を図りながら、地域医療を支えている。
地域の基幹病院としての地位を確立した中、令和2年4月には新たに「地域がん診療連携拠点病院」として指定を受けるなど、職員一人ひとりが現状に満足することなく、向上心を持って職務に励んでいる。
開院から4年間は順調な経営ができていたものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による診療制限など、収益の大幅な減少が見込まれるため、より一層の費用の節減など経営基盤を強化する必要がある。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。